

施策名：変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援

事業名	担当課・室名	ページ
女性の地域活動実践力向上支援事業	社会教育課	1 / 3
「やさしい日本語」活用促進事業	社会教育課	1 / 3
DXによる図書館サービス推進事業	社会教育課	1 / 3
学び直し支援体制整備事業	社会教育課	2 / 3
生涯を通じた障がい者の学び支援事業	社会教育課	2 / 3
「森の子学校」体験活動推進事業	社会教育課	2 / 3
森林環境学習促進事業	社会教育課	3 / 3
学校との連携・協働による「地域協育力」向上事業	社会教育課	3 / 3

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：Ⅲ-1-(7)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価		
1	<b>女性の地域活動実践力向上支援事業</b> ( R5 ~ R7 ) 社会教育課 多様化する地域課題を住民主体で解決する体制を強化するため、女性の視点を活かした地域づくりに必要な実践力の向上に取り組む。	①地域活動実践力向上モデル事業 ・中津市山国町・宇佐市・別府市各婦人会が「環境」を共通テーマにモデル事業に取り組んだ。各婦人会が持つノウハウやネットワークを活用し、それぞれの地域が抱える課題の解決に向けた活動を展開した。 ・取組を周知するためのリーフレットの作成、配布(2,500部) ②地域活動実践力向上研修会 ・講演会及び3分科会を実施(参加者253人) ③地域活動実践交流会 ・モデル3地域実践発表及び講演会を実施(参加者289人)	① 1,211 ③ 770	<b>モデル事業に取り組んだ団体数</b> [団体]	目標値		3	3	A		
			② 996 ④		実績値		3	-			
			主な活動指標と達成率			達成率		100.0%		-	
			研修会等に参加した団体のリーダー数	目標値	270	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 女性の視点を活かした地域づくりや、地域活動の活性化を図るため、研修会の実施や県内3地域においてモデル事業を実施することができた。 今後は、地域内の様々なステークホルダーとの連携を深めながら、女性の視点を活かした地域課題解決プロジェクトを立案・実施し、持続可能な地域づくりを目指す。					
				実績値	333						
	達成率	123.3%									
	目標値										
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)										
	2,978 (0)	2,977 (1,189)									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価		
2	<b>「やさしい日本語」活用促進事業</b> ( R5 ~ R7 ) 社会教育課 公民館等社会教育施設において、「やさしい日本語」を活用した学習・交流事業を展開することにより、持続可能な地域コミュニティの形成を目指し、地域課題の解決を図る。	①県内全域への拡大・定着 ・講演会(杵築市・豊後大野市：157名) ・地域住民向け学習会(佐伯市・日田市：57名) ・外国人との交流会(佐伯市・日田市：60名) ・サポーター育成講座(宇佐市・大分市：57名) ②多文化交流(公民館モデルプログラム提示) ・宇佐神宮散策とワークショップ(宇佐市：25名) ・外国人の出身国紹介についての交流(大分市：78名) ③多様な分野との協働 ・東九州龍谷高校との協働(学習会・交流会：42名) ・別府大学との協働(講座：63名) ・由布院温泉の観光業者との協働(講座：26名) ・福祉分野との協働(県社会福祉協議会研修：30名)	① 876 ③ 309	<b>「『やさしい日本語』活用の必要性がある」と答えた地域住民の割合</b> [%]	目標値		75.0	80.0	A		
			② 400 ④		実績値		99.4	-			
			主な活動指標と達成率			達成率		132.5%		-	
			「やさしい日本語」事業を実施したことがある市町村の数	目標値	10	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 「やさしい日本語」の普及及び活用の促進、公民館でのモデルプログラムの提示を通じて、多文化・多世代交流における「やさしい日本語」の有効性・必要性の認識向上を図ることができた。 「やさしい日本語」の普及が必要とされている分野との協働も含め、今後も継続して県内各地への活用促進、モデルプログラムの開発・提示、育成したサポーターによる普及・啓発などを進める。					
				実績値	11						
	達成率	110.0%									
	目標値										
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)										
	1,599 (0)	1,585 (0)									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価		
3	<b>DXによる図書館サービス推進事業</b> ( R5 ~ R7 ) 社会教育課 図書館サービスの充実を図るため、郷土資料のデジタル化を進めるとともに、保存環境の整備等を行う。	①郷土資料の保存・提供 ・資料デジタル化実施 紙資料 2,097点(225,272コマ) 視聴覚資料 93点 ・インターネット公開(800点) ・保存環境の整備 集密書架増設による収蔵スペースの確保(約50,000冊) ②電子書籍の拡充 ・電子書籍の購入(520コンテンツ) ・けんとしよ電子書籍サービス体験講座(5回) 電子書籍サービス体験及び、使い方や手続きの仕方について案内(参加者 計60名)	① 40,931 ③	<b>デジタルアーカイブの資料閲覧数</b> [回]	目標値		3,200	6,400	A		
			② 4,400 ④		実績値		5,469	-			
			主な活動指標と達成率			達成率		170.9%		-	
			デジタルアーカイブのインターネット公開資料数	目標値	800	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 資料のデジタル化及びデジタル資料の提供により、県立図書館の非来館型サービスを拡充することができた。また、集密書架の増設により、貴重な資料の保存機能の強化を行うことができた。 今後は図書館サービスの充実を図りながら、児童・生徒を含めより多くの県民にそのサービスを利用してもらえるよう、講座の開催や情報発信の充実などにより周知に努める。					
				実績値	804						
	達成率	100.5%									
	目標値	65									
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)										
	45,485 (0)	45,331 (10,929)									
			本事業の広報・周知実施回数	目標値	65						
				実績値	107						
				達成率	164.6%						

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：Ⅲ-1-(7)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価		
4	<b>学び直し支援体制整備事業</b> ( R5 ~ R7 ) 社会教育課 高校中退者等の学び直しを支援するため、退職教員等による学習相談の窓口を設置し、県内各地における学習講座を企画・実施するとともに、関係機関による連携体制を構築する。 予算額 (うち翌年度繰越額) 3,336 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 3,233 (1,051)	①学びのステップアップアドバイザーの配置 退職教員等の地域人材による、高等学校中退者等の学び直しや高卒認定試験合格に向けた学習相談・学習支援の実施 ・利用者数…43人 ・実施回数…220回 ・高卒認定…受験者13人、合格者9人 ②おおいた学びのステップアップ協議会の開催(3回) ・県教委、知事部局、ハローワーク等が連携し、高卒認定試験を必要とする方の現状等の情報共有や支援方法の検討を実施 ・高校中退者等に対し、高卒認定試験合格を目指した学習支援及び進路相談を実施することについて周知を図るチラシを作成・配布 (コンビニ、高校等に20,000部配布)	① 2,657 ③	<b>学習相談・学習支援者の利用者数</b> [人]	目標値		30	30	A		
			② 576 ④		実績値		43	—			
			主な活動指標と達成率				達成率			143.3%	—
			学習相談及び学習支援の実施回数	目標値	90	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針					
	[回]	実績値	222	コンビニ等へのチラシの配布、広報紙や広報番組等の活用に加え、社会福祉協議会や不登校の親の会等を通じた対象者に直接情報が届きうる周知活動に努めたことにより、学習相談・学習支援者の利用者数を拡大できた。また、本事業利用者のうち、13名が高卒認定資格試験を受験し、うち9名が合格し、残りの4名も一部科目合格を果たすことができた。今後は関係機関と更に連携を深め、対象者の把握や事業の周知に努めていく。							
		達成率	246.7%								
		目標値									
		実績値									
		達成率									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価		
5	<b>生涯を通じた障がい者の学び支援事業</b> ( R4 ~ R6 ) 社会教育課 障がい者の生涯にわたる学びを支援するため、関係機関の連携体制を構築するとともに、地域における生涯学習の実践研究等を行う。 予算額 (うち翌年度繰越額) 7,604 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 6,567 (6,567)	①普及啓発 ・行政職員・公民館関係職員を対象とした研修の実施 ・九州・沖縄ブロックコンファレンスの開催 ・専用Webサイト「かたろうえ大分」の改修 ・学習動画制作(6本) ②実践研究 ・大分大学生涯学習講座(5回) ・社会教育関係施設(青少年の家・モデル公民館)での体験活動や教養講座(22回) ・特別支援学校出前講座(5校) ③調査研究 ・県内の先進事例や研究結果に関する事例集発行 ・先進地視察(4回) ④推進協議会(コンソーシアム)の実施(3回) 関係機関のネットワーク化を図り、情報や課題を共有して取組を協議	① 3,442 ③ 1,269	<b>連携する支援団体・機関数</b> [団体]	目標値	25	35	45	A		
			② 1,681 ④ 175		実績値	34	40	—			
			主な活動指標と達成率				達成率	136.0%		114.3%	—
			障がい者の学びに関する情報件数	目標値	70	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針					
	[件]	実績値	96	教育・福祉機関の連携体制を構築し、大学や社会教育関係施設での障がい者対象講座や特別支援学校出前講座を実施したほか、障がい者の生涯学習に関するイベントや団体情報に関する専用Webサイト改修、事例集や学習動画制作を行った。また、ボランティア・支援者養成研修も実施して事業の理解者・協力者を増やした。令和6年度はモデル公民館を6館に増やすとともに「学びの拠点」を設置して恒常的・持続的な取組のあり方を検討する。							
		達成率	137.1%								
		目標値									
		実績値									
		達成率									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価		
6	<b>「森の子学校」体験活動推進事業</b> ( R4 ~ R6 ) 社会教育課 次世代を担う子どもたちへの森林・林業教育を推進するため、青少年の家で学校教育と連動した森林・林業教育プログラムを実施する。 予算額 (うち翌年度繰越額) 5,266 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 5,134 (0)	①モデル校によるプログラム実践 ・プログラム実践協力校15校を選定 ・青少年の家での集団宿泊研修に関わる事前学習、直接体験、事後学習からなる森林・林業教育プログラムの実施 ②森林・林業教育プログラムの体系化 ・間伐や遊歩道の修繕により、森林・林業体験のための安全なフィールドを整備 ・香々地・九重青少年の家のフィールドや近隣の環境、企業等を活用した活動のプログラムを体系化	① 2,912 ③	<b>森林・林業への興味・関心、理解度</b> [%]	目標値	75.0	80.0	85.0	B		
			② 2,222 ④		実績値	86.0	79.8	—			
			主な活動指標と達成率				達成率	114.7%		99.8%	—
			森林・林業教育プログラムの提供数	目標値	8	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針					
	[件]	実績値	15	小学校13校と中学校2校をモデル校に選定して森林・林業教育プログラムを実施し、事前・事後アンケート調査の比較から大分県の森と人々の生活や林業への理解の向上が確認された。また、参加の児童生徒数が昨年度の247名から445名増加するなど、事業の広がりが見られた。今後は興味・関心、理解度をより向上させるため、プログラムの精選と強化を図っていく。							
		達成率	187.5%								
		目標値									
		実績値									
		達成率									

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：Ⅲ-1-(7)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額		成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価		
7	<b>森林環境学習促進事業</b> ( H24 ~ ) 社会教育課 森林環境学習を推進するため、指導者の養成と児童・生徒への学習機会の提供を行う。また、子どもたちの体力・運動能力と木への親近感を高めるため、青少年の家等での運動・遊びを通じた体験活動を実施し、幼児期から木や森の魅力を体感できる機会の拡充を図る。	①幼児期からの環境学習に関する学習機会の提供 ・森の子レンジャー（4回実施、参加者66名） ・森の楽校（3回実施、参加者69名） ・森林の環境学習サポート隊（8回実施、参加者448名） ②「森で遊ぼう」自然環境での運動（遊び）推進事業 ・生き活き自然体験キャンプ（3回実施、参加者68名） ③木製遊具の設置 ④森林環境学習指導者の養成及び資質向上 ・スキルアップセミナー（3回実施、参加者25名） ・森林環境学習指導者養成研修会（3回実施、参加者11名）	①	2,158	③	377	<b>森林環境学習の参加人数</b> [人]	目標値	5,830	<b>5,930</b>	6,030	<b>A</b>
			②	902	④	71		実績値	6,836	<b>6,103</b>	—	
			主な活動指標と達成率		達成率	117.3%		<b>102.9%</b>	—			
			予算額 (うち翌年度繰越額) 3,962 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 3,508 (0)		森林環境学習の実施回数 [回] 新規の指導者の養成数 [人]	目標値 37 実績値 25 達成率 67.6% 目標値 5 実績値 2 達成率 40.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 令和5年度は、教育現場での森林(もり)の環境学習サポート隊の需要の高まりを受け、実施回数を増やしている。また、森の楽校事業では参加児童に自然環境に関する10項目の事前事後アンケートを実施し、体験活動への肯定的評価の向上が見られた。今後は大分県環境教育アドバイザーや環境教育NPO法人等と連携し、SNS等を活用した広報活動を充実させ、新たな環境教育指導者の養成に努めたい。					

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額		成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価		
8	<b>学校との連携・協働による「地域協育力」向上事業</b> ( R5 ~ R7 ) 社会教育課 学校・家庭・地域が一体となって子どもを取り巻く課題を解決できる体制を構築するため、「協育」ネットワークの強化に取り組む市町村を支援する。	①「協育」ネットワークの機能強化 ・未来創生塾（14市町村140教室） ・小学生チャレンジ教室（16市町村140教室） ・企業・高校等を活用した地域プログラム開発事業 ②地域学校協働活動の体制整備 ・学校における地域学校協働活動（13市町村72部会） ・地域学校協働活動推進員の配置（13市町109人） ・地域学校協働活動関係者研修 ③家庭教育支援活動の強化 家庭教育支援部会の構築（12市町村47部会）	①	39,100	③	2,891	<b>「協育」ネットワークの取組に参加する地域住民の数</b> [人]	目標値		<b>109,500</b>	110,000	<b>A</b>
			②	13,025	④			実績値		<b>111,631</b>	—	
			主な活動指標と達成率		達成率			<b>101.9%</b>	—			
			予算額 (うち翌年度繰越額) 68,183 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 55,016 (27,409)		「地域学校協働活動」の実施件数 [件]	目標値 18,000 実績値 22,862 達成率 127.0% 目標値 実績値 達成率	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 地域学校協働活動推進員配置モデル地域を前事業から拡充し、その取組を研修や協議会等での実践発表等を通じて県内全域に発信することで、地域学校協働活動の実施件数、活動に参加した地域住民の数は大きく増加した。今後、地域学校協働活動推進員等の学校運営協議会への参画を促進することにより、多様な地域住民による地域学校協働活動の一層の充実を図る。					